

あいあいあい

2012年9月3日号

生活協同組合
coop あいコープみやぎ

〈発行〉生活協同組合あいコープみやぎ理事会
〒983-0035 仙台市宮城野区日の出3丁目4番17号
TEL 022-284-7241 FAX 022-284-6973
http://www.aiayama.coop



生産者の
高橋永真(ながまさ)さん

相馬はらがま朝市クラブ
全国牌 相馬復光松前漬・手造り塩辛
北海道産の原料を鎌田醤油の国産丸大豆
などで味付けした復興応援商品です。

「全国牌 相馬復光松前漬・全国牌 相馬復光手造り塩辛」

被災に遭った方々の雇用場として発足した「相馬はらがま朝市クラブ」の商品を紹介します。

福島県相馬市で水産加工メーカーを営んでいた高橋永真さんは自宅と加工工場を津波で流され現在も仮設住宅で避難所生活をしています。高橋さんは相馬と同じく津波で被災した方たちと「NPO法人相馬はらがま朝市クラブ」を発足し、商品を製造・販売することで雇用の場を作りました。この商品には「相馬の復活と希望の光(復光)」と言う相馬市民の心がこもった商品です。是非この機会に私たちが商品を購入し、被災に遭った方々への継続的な雇用の機会を与えられればと思います。

あいコープみやぎは、政府の「エネルギー・環境に関する選択肢」に対する国民からの意見募集へ、次の意見(パブリックコメント)を提出しました!

「エネルギー・環境に関する選択肢」に対する、あいコープみやぎの意見

◎子ども達の未来のために、私たちの責任として「原発は即刻ゼロ」に!
私たちの世代はすでに、福島第一原発事故によって、とんでもない「負の遺産」を将来世代に残すこととなってしまいました。
私たちの住む宮城にも放射能は降り注ぎ、私たちの子や孫は一生に渡って、シーベルト(環境の放射能汚染)やベクレル(食べ物の放射能汚染)の数値を気に掛け、予測のつかない健康被害に不安を抱きながら、暮らしていくこととなりました。
そして福島原発を「廃炉」にするための、この先何十年かかるか分からない、気の遠くなるような工程。誰かがやらねばならない膨大な被曝労働が、子や孫やその先の将来世代に渡って、強いられるのです。
その間、再び大地震が起きないか、福島第一原発から更なる大量の放射能放出が起きないか、常に恐怖に晒されながら。
本当に悔やんでも悔やみきれない、子や孫に謝っても謝りきれない事態に、すでになっているのです。
未来の人類にとって、私たちは間違いなく、史上最悪の先祖です。
もう十分ではないでしょうか、子や孫や将来世代へ迷惑を掛けるのは。

原発・核エネルギーの「恩恵」を受けるのは数十年かせいぜい百年、数世代に過ぎません。しかしその結果生み出される膨大な核廃棄物の管理、それに失敗したときの汚染リスクは、遙か先の将来世代にわたって、文字どおり永遠に続きます。
私たちが原発をゼロにするか否かの選択は、単に向こう十数年のエネルギー問題、環境問題ではない。まして目先の景気や経済の問題ではあり得ない。
私たちの世代が、今からできるせめてもの行ないとして、核廃棄物を増やさない=将来世代にもうこれ以上の「負の遺産」を作らないという「倫理」の問題なのです。

私たちは、原発何%でエネルギーが足りるか? 経済が成り立つか? 等と問題を立てるのではなく、「原発は即刻ゼロ」を前提にした上で再生可能なエネルギーの範囲でどう暮らしていくか? 経済や社会をどう作り直していくか? と問題設定し、取り組んでいかねばなりません。

それが、すでに将来世代にとんでもない迷惑をかけてしまった私たち世代の最低限の責任であり、償いであり、倫理です。
私たちの選択肢は、倫理的に「原発は即刻ゼロ」しかあり得ません。

◎日本、東北、宮城の大地と海を、二度と放射能で汚してはならない!
私たち「あいコープみやぎ」は「地産地消」「食の自給と安全」を旨とする生協です。東北・宮城の生産者と直接結び付き、消費者と生産者が互いに対等な信頼関係を築くことが「食の安全安心」を創るとの考えのもと、産直運動を推進してきました。

しかし福島第一原発事故が起こり、私たちの「地産地消」の基盤である東北・宮城の大地と海に、放射能が降り注ぎました。
大地に根つき、海に生き、安全安心な食べ物を作ることに誇りをもって取り組んできた生産者の怒り、憤りがどれほどのものであったか想像してみてください。
その生産者に感謝しながら家族の食事を作り育ててきた生協組合員の嘆き、悲しみがどれほどのものであったか想像してみてください。

自分達の住む環境や食べ物が放射能で汚染されるという体験を通じて、私たちは改めて、東北の美しい山里海、澄んだ空気や水、肥沃な土、美味しい米や野菜、山で採れる山菜やきのこ、海や川で釣れる魚... その中で平和に暮らし育ててができるということが、いかに幸せなことであり、かけがえのない「豊かさ」であったかということを感じました。
この「豊かさ」は、GDPなどでは決して測ることのできない、人間にとって、社会にとって一番大切な豊かさなのです。

私たちはこの「豊かさ」が永遠に続くものと思っていました。
しかし原発事故は一夜にして、それを汚してしまったのです。放出された放射能を元に戻すことは不可能であり、「取り返しがつかない」のです。
私たちは「原発と人間は相容れない」ということを、身をもって、はっきりと理解しました。

東北の豊かな自然と、その循環の中で持続的に営まれる農畜産業・水産業は、私たちの文化であり、風土であり、故郷そのものです。
私たちの大切な故郷を放射能で汚すことは、二度と許しません。
他のどんな地域でも、世代でも、同じ悲しみが起こることを決して許しません。
原発事故の可能性は、即座に、永遠に、ゼロにしなければなりません。
そのための選択肢は「原発は即刻ゼロ」以外あり得ないのです。

大飯原発3号・4号を止め、すべての原発の再稼働を断念し、「原発は即刻ゼロ」を選択することを強く求めます。

あいコープカレンダー

8月24日現在

Wa!祭り
2012
10・28 SUN
10:00-15:00
仙台卸商センターサンフェスタ
〒984-0811 仙台市宮城野区日通1-1-1
TEL 022-235-1100 FAX 022-25-1100

あいコープにはあいがある
うまいものにもあいがある
keyワードは あいを探せ!!
生産者の皆さんと組合員と職員が作り上げる祭りです。

- 9/27(木) **バナナヤキ生産者交流会**
場所: 福祉プラザ9F 10:00~12:00
- 10/4(木) **あいびんと運動計画学習会**
*沢郷牧場伊藤幸蔵氏講演
音階歌
場所: エレック仙台センターホール 10:00~12:00
- 10/19(金) **エコリニア7°交流会**
場所: エレック仙台センターホール ※13:30~15:30
※8月20日号のカレンダーの時間が間違っていました。訂正いたします。
- 11/8(木) **あいびんと運動計画学習会**
NPO法人民間福祉研究センター 稲葉文樹氏
音階歌
場所: 青年センターエックホール 10:00~12:00
- 12/3(日) **福祉学習会**
*全館めぐり 秋の味覚市場に出発
音階歌
場所: エレック仙台センターホール 10:00~12:00

Wa!わ祭り

2012・10・28(日) 山合郵便センター サンプエスタ
10:00~15:00

今年のWa!わ祭りも、「閉上太鼓」の皆さんが来てくれることになりました。閉上太鼓の皆さんも3・11の東日本大震災で大きな被害に遭い、犠牲になった指導者の方の思いに応えようと再出発。地域の神社をはじめ色々な所で復興の太鼓の音を響かせています。

閉上太鼓の皆さんに元気にホーンを飾り、頂いた後は、60社近い生産者の皆さんと一緒にお祭りを盛り上げます。震災前から変わらぬ味・こだわり・思い。また震災後芽生えた想いも含め、それぞれのアースで来場者の皆さんにお伝えします。日に夏逢えない生産者の皆さんと是非お話し下さい。生産者だけでなく、組合員、職員、あいコーポの仲間たちみんなの想いを伝えます。

キーワードは「あい」を探せ!!

震災前から変わらない、あいコーポの「あい」をみんなで見つけよう。実行委員会では 皆さんからのメッセージを募集しています。

「あいコーポの仲間たちへ あなたの想いを届けよう！」

作ってくれる生産者さんへ、届けてくれる職員さんへ、共に活動する組合員さんへ、一番身近な家族へ。「ありがとう」や「これからもよろしく」、「一緒にがんばろう」など、あなたの想いを伝えましょう。

お祭りで「はあーと」のメッセージ展示後、生産者の方々のメッセージは実行委員会責任を持ってそれぞれの生産者にお届けします。

Wa!わ祭り実行委員会 担当理事 高澤 ますみ

Wa!わ祭り

一押し企画!!



「男のあいごはん」「あいぼうんど検定」2本立て!!

あいぼうんど運動推進委員会では、お楽しみ企画を2つ準備しています。

事業部職員による「男のあいごはん」です。のり牛を趙さんの焼肉のたれで漬け込み、玉ねぎのスライスとこの漬汁込んだのり牛を炒めたものを熱々のどんぶりのにせませます。いつもの「あいごはん」美味しいこと間違いなしです。

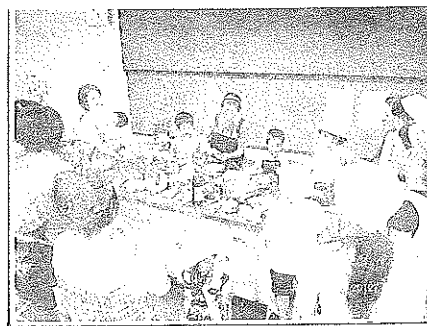
そして、あいぼうんど検定(クイズ)。皆さん、まんま通信の裏面でお馴染みのあいぼうんど検定ですが、答えをチェックしていますか?お祭りでは、各ブースにこのクイズを設置します。ステージにて答えを発表しますので、答えを準備してお集まり下さい。解答用紙は会場にて準備致します。正解者には、もちろんあいぼうんどからプレゼントがあります。お楽しみに!

あいぼうんど運動推進委員会 高橋 千佳

夏休み・親子クッキング

8/1(水) しろさい地区委員会企画報告

震災後、新工場を建て直して、「焼肉たれ」や「キムチ」など復活した「趙さんの味」の李香星さんを講師にお迎えして、夏休み親子ランチ教室を開催しました。



親子21名で、韓国風団子と韓国風のり巻きを2種類に挑戦! 最初はお団子作りでは李さんがお手本に3色の雪だるまや、かぼちゃなどを作ってくれ、その度に「かわいい〜!」と歓声が上がりました。韓国風のり巻もそれぞれ味付けした沢山の種類の具を巻いて切り分けると「おいしい〜! きれい」などの声。子供たちも器用に箸先を使って様々な動物を作ったり、のり巻を巻いてみたりしました。夏休みはお母さん達は三食作ることに追われてしまっていますが、この日は母子の共同作業で時間をかけて和気あいあいと楽しく作り上げました。試食の時の子供たちの顔は、作っている時と同様、生き生きと満足気。やっぱりお父さんお母さんと一緒に食べる食事も倍増するようです。

初めてお逢った李さんはとても親しみやすい方で、「おいしいかったです!」という沢山の感想が寄せられ「趙さんの味」が復活したことを実感しました。

「真面目に手問ひまかけ美味しい物を作る...」をモットーにしていらっしゃる「趙さんの味」の李さんの商品をこれからも買い支え、復興応援していきたいと思っています。

しろさい地区委員 川端 洋子

脱原発の社会を 実現するために

先日、組合員に自然エネルギー・省エネルギーの取り組みを募集したところ、たくさんの方が取り組みが寄せられました。その中から、ひとつご紹介いたします。

4人のお子さんを育てた武田さん。「子どもが小さい頃、夏休みに電気使用量調べに取り組みさせて省エネ意識を育てました。各室にこもらないで、リビングの大テーブルに集い、みんなで本読みや勉強をしました。」

そのおかげで、お子さん達は省エネの暮らしを心掛ける大人に育ち、皆さん仲が良く、脱原発の社会の実現のために、まず家庭からですね!

子ども達の未来のために脱原発を進める委員会担当理事 斎藤 郁子